



加島地下道が開通

富士駅西側の加島地下道が10月10日から使用できるようになりました。

この地下道は、昭和41年から工費2億2,200万円で建設をすすめていたもので幅は8mから20m、両側に歩道と自転車道がつくられています。

なお、地下道北側の取り付け道路が一部できないので、車両は南進だけの一方通行になっています。交通標識に注意して進行してください。

畜産公害の防止に 新施設がおめみえ

…玉置農林政務次官らが視察…

豚や牛などの家畜による「畜産公害」は、大企業による産業公害ほど大きな問題にはなりません、周辺の住民や飼育農家にとっては深刻な悩みになっています。とくに豚のし尿は人間の約5倍の排出量があり、この処理対策が問題になっています。

こうしたおりに、種豚団地である市内次郎長に「牛・豚し尿肥料化装置」ができ、10月15日、玉置農林政務次官、斉藤市長ら関係者が視察しました。

この装置は、牛や豚のし尿を肥料成分の多い乾燥粉末にするという、全国でも珍しいもの。特色としては、水を一滴も必要としない。他の方法とくらべせまい敷地でもできる。臭気は脱臭装置によつてほとんど取り除か

れる。生産される肥料は肥効力が大きいなどがあげられています。

いままで、牛や豚のし尿はほとんど水でうすめて河川に放流していましたが、さきごろ三重県で水質が汚濁し、大きな問題になりました。

こうしたおりに、この牛・豚し尿肥料化装置がこれからの畜産公害防止策としておおいに期待され各方面の注目を集めています。玉置次官ら関係者は、畜産公害もなくなり、しかもし尿から肥料ができるなど、処理方法などに熱心に聞き入っていました。



【各方面の注目を集めている「牛豚し尿肥料化処理装置」の説明を聞く玉置次官＝右から2人目】



紅葉の山ろくを ハイキング

…若妻学級と青年学級が…

紅葉の山ろくで野外学習をと、若妻学級と青年学級の合同ハイキングが10月10日、大淵丸火で行なわれました。

参加者は富士、須津、原田、大淵の若妻学級生と富士青年学級生これにこどもたちも加わり総勢約150人。ハイキングコースは、大富士ゴルフ場前から青少年の家までの3キロ。秋の草花を觀賞しながら、全員元気に歩きぬき、青少年の家に到着。青少年の家では若妻と娘さんの話し合い、ハンゴースイ飯などで野外学習の成果をあげました。